

- 問1 草地で家畜を飼いすぎることによって土地が荒れ、砂漠のように植物が育たなくなること何という？
- 問2 ツンドラ気候において、夏にわずかに溶ける状態のものを何という？
- 問3 ツンドラ気候の地域で、先住民が生活のために遊牧を行う動物を何という？
- 問4 遊牧で得られる家畜の体からとれるものの中で、衣類や防寒具の原料になるものを何という？
- 問5 冬の寒さが厳しく、地面の下が一年中凍結したままの土地のことを何という？
- 問6 乾燥帯の地域で、地下水をくみ上げて農業を行う場所を何という？
- 問7 赤道付近の熱帯で、一年を通して発生する激しいにわか雨のことを何という？
- 問8 キリスト教がヨーロッパ各地に広まるきっかけとなった、古代の地中海世界を支配した大帝国を何という？
- 問9 イスラム教の礼拝所で見られる、ドーム型の屋根や尖塔（ミナレット）を特徴とする建築物を何という？
- 問10 乾燥した地域のオアシス農業において、水が貴重な環境をいかして栽培される、衣料品の原料にもなる農産物を何という？
- 問11 焼畑で作物を育てる際に、灰の中に含まれていて肥料として働く成分を何という？
- 問12 ステップ気候の地域で、羊や牛などを飼育しながら移動する生活スタイルを何という？
- 問13 農作物を収穫した後の土地の栄養を回復させるために、長期間耕作をやめて放置することを何という？
- 問14 地中海沿岸に見られる、夏に高温で乾燥し、冬に雨が降る気候を何という？
- 問15 乾燥が激しく樹木がほとんど育たず、短い草が広がっている気候区を何という？
- 問16 タイやミャンマーなどで広く信仰されている、個人の修行を重視する仏教の宗派を何という？
- 問17 寒帯の地域で、夏の間だけ地面がわずかにとけて草やコケが生える土地のことを何という？
- 問18 降水量が少なく農業に適さない地域で見られる、乾燥した草地や荒野が広がる気候帯を何という？
- 問19 ユーラシア大陸や北アメリカ大陸の北部に広がる、寒冷な気候に適応した樹木が作る森林を何という？
- 問20 大航海時代以降にヨーロッパ人の移住が進み、現在ではキリスト教徒が世界で最も多い国として知られる南アメリカの国を何という？
- 問21 タイガの地域において、森林資源を利用して木材を生産する産業を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 砂漠化	砂漠化は、過放牧によって草が根ごと食べ尽くされ、表土が風で飛ばされることで起こります。また、樹木の伐採や農耕の拡大も要因です。一度土地が砂漠化すると、土壌の保水力が失われ、再び植物が育つことは非常に困難になります。特に遊牧地域では、移動を繰り返す伝統的な暮らしを離れて定住が進むことで、特定の場所に負担が集中し、この現象が加速しています。
問2	答え 氷雪	氷雪は、ツンドラ気候などの寒冷な地域で地表を覆う氷の塊や積雪を指します。夏の短い期間だけ地表に近い層が少しだけとけることがあります。地下深くは凍結したままです。この過酷な状態が、植物の生育を制限し、独自の生態系を維持する要因となっています。
問3	答え トナカイ	トナカイは、寒帯の過酷な環境に適応したシカ的一种です。先住民はトナカイの群れを移動させながら飼育し、乳や肉を食料として、毛皮を衣服や住居の材料として利用してきました。人間とトナカイは共存関係にあり、伝統的な文化を支える柱となっています。
問4	答え 毛皮	毛皮や羊毛は、遊牧民にとって非常に重要な資源です。羊、ヤギ、ラクダなどを飼育することで、食料としての乳製品だけでなく、寒さをしのぐための衣服や寝具の材料を得ることができます。これらは生活必需品であると同時に、他の地域の人々と交換するための貴重な交易品でもあります。
問5	答え 永久凍土	永久凍土は、たとえ夏になっても地下の凍結層が溶けずに残っている土地を指します。地表のわずかな層だけが季節によって溶けますが、その下はカチコチに凍っているため、水分が土壌深くに浸透せず、湿地になりやすい特徴があります。建物を建てる際にも凍土の影響を考慮しなければなりません。
問6	答え オアシス	オアシスとは、砂漠などの中であって、地下水を利用して植物が育ち、農業や集落が維持できる場所です。自然に湧き出る泉のほか、古い時代から開発された地下水路を利用して、ヤシや穀物、果物などを栽培するオアシス農業が行われています。
問7	答え スコール	スコールとは、熱帯地方で見られる強烈なわか雨のことです。日中、気温が上昇して強い上昇気流が発生すると、積乱雲が急速に発達し、バケツをひっくり返したような激しい雨が短時間降ります。風を伴うことも多く、一過性ですが非常に勢いが強いのが特徴です。
問8	答え ローマ帝国	ローマ帝国は当初、キリスト教を弾圧していましたが、4世紀に皇帝がこれを公認しました。さらにその後、国教（公式の宗教）とすることで、教えは地中海周辺からヨーロッパ全域へと爆発的に広まりました。
問9	答え モスク	モスクは、信者が礼拝を行うための施設です。特徴的なドーム型の屋根や、高い塔（ミナレット）が備わっているのが一般的です。ミナレットは、礼拝の時間を知らせる呼びかけを行う場所として使われてきました。内部には偶像が置かれず、壁には美しい幾何学模様などが施されていることが多いです。
問10	答え 綿花	オアシス周辺では、ナツメヤシや小麦のほかに、綿花などが栽培されています。綿花は熱や日光を好む性質があるため、乾燥地域の気候と非常に相性が良い農産物です。
問11	答え カリウム	焼畑で木を燃やすと、木に含まれていた栄養分が灰として残ります。この灰にはカリウムが豊富に含まれており、これが天然の肥料として作物の成長を助けます。また、灰は土壌をアルカリ性に傾ける性質があるため、酸性土壌になりやすい熱帯の土壌を中和する働きもあります。これにより、貧栄養な土地でも一時的に豊かな収穫を得ることが可能となります。
問12	答え 遊牧	遊牧は、羊、山羊、馬、牛などの家畜を連れて、季節ごとに適した水場や草地を移動する生活形態です。定住型の農業に適さない環境を賢く利用する知恵であり、古くから中央アジアなどの乾燥地で発達しました。家畜は食料だけでなく、移動式住居の材料にもなります。
問13	答え 休閑	休閑とは、土地を使い続けなくて休ませる期間のことです。この期間中に自然に植生が戻ることで、土壌に再び有機物が蓄積され、地力が回復します。熱帯の焼畑農業では、この休閑期間が数年～数十年と非常に長く設定されるのが一般的です。土地を転々と移動することで、自然環境との調和を図りながら食料を生産してきました。
問14	答え 地中海性気候	地中海性気候は、夏は亜熱帯高圧帯の影響で乾燥して晴天が多く、冬は偏西風の影響で雨が降りやすいという特徴があります。この気候を利用して、乾燥に強いオリーブ、ぶどう、柑橘類などの果樹栽培が古くから盛んに行われてきました。
問15	答え 草原	草原は、砂漠と湿潤地域の中間に位置するステップ気候などで見られる特徴的な景観です。背の高い樹木は育ちませんが、限られた雨水でも成長できる草が一面に広がります。家畜の飼育場所として非常に重要な役割を果たしています。
問16	答え 上座部仏教	上座部仏教は、釈迦の教えを忠実に守ることを重視し、主に東南アジアのタイやミャンマー、スリランカなどで信仰されています。出家した僧侶の修行を重視し、戒律を守る生活を大切にします。一方、中国や日本に伝わった大乘仏教は、人々の救済を幅広く目指す教えとして発展しました。
問17	答え ツンドラ	ツンドラは、ロシア語の「木が生えない土地」に由来します。短い夏の間にだけ地表の雪がとけ、地衣類やコケ類、わずかな草が生育します。地中の深い部分は一年中凍ったままであることが多く、地表のみが季節的に変化する過酷な植生環境です。
問18	答え ステップ	ステップ気候は、砂漠気候よりもわずかに雨が多いため、短い草が地面を覆う草原地帯となっています。このような環境では、穀物を育てる農業には不向きですが、草を食べて育つ家畜を放牧することは可能です。そのため、中央アジアやモンゴルなどの地域では、人々が家畜を連れて水と草を求めて移動する遊牧というスタイルが古くから定着しています。
問19	答え 針葉樹	針葉樹は、葉を細い針状にすることで、表面積を減らし、水分が凍結して失われるのを防いでいます。代表的な樹種にはトウヒやモミ、カラマツなどがあります。これらの樹木が密集して広大な森林を作っているのが、北半球の高緯度帯です。非常に成長が遅く、寒さに強いという特徴があります。
問20	答え ブラジル	ブラジルは16世紀からポルトガルの植民地となり、言語や宗教が持ち込まれました。この結果、ブラジルではポルトガル語が公用語となり、キリスト教が人々の生活や文化に深く根付くこととなりました。現在でもブラジルは世界で最もカトリック教徒の数が多く国として知られています。
問21	答え 林業	林業は、森林を管理・保護し、木材として加工する産業です。切り出した木材は建築資材として使われるだけでなく、紙の原料となるパルプとしても活用されます。特に北欧やロシア、カナダなどでは、この豊富な森林資源を生かした林業や木材加工業が国を支える主要産業の一つとなっています。